

とうべつ

手にとって good 身近に



WEB版はこちら

議会だより



No. 213

令和5年6月1日発行

CONTENTS

3月定例会・5月臨時会

4年に1度の議員改選 新体制が始動・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 2

議長、副議長、各委員会の構成決定

町長・教育長の執行方針に対する代表質問と新年度予算・ p. 4

- ・「人生100年時代」を見据えて！
- ・農業の将来に向けての対策を！
- ・コンビニ事業による影響は
- ・安心・安全の当別町に！！
- ・新年度予算注目点 ～予算審査特別委員会・各常任委員会の審議～

5人の議員が町の考えを質す・・・・・・・・・・・・・・・・ p.17

- ・子どもたちの遊びと交流について
- ・どうする、これからの当別
- ・町民参画によるまちづくりの推進
- ・利便性重視と早急な環境の整備を
- ・美味しい朝食をしっかりと食べよう



令和5年 当別町議会 新体制が始動

令和5年

当別町議会 新体制

始動

～議員の顔ぶれと抱負～

※ ○内の数字は議席番号

※ 年齢は令和5年5月1日現在



② 海野 学 (56) 1期
子どもの笑顔、高齢者の安心のために！



④ 櫻井 紀栄 (31) 2期
民間・行政・議員の連携を活かし課題解決！



⑥ 佐藤 立 (43) 3期
町民の声と長期的展望を踏まえた議論を。



⑧ 五十嵐 信子 (56) 3期
一人一人に寄り添い支えあうまちづくりを。



⑩ 秋場 信一 (70) 4期
次代へ繋ぐまちづくりに全力で頑張ります。



⑫ 古谷 陽一 (73) 4期
美しく活力ある当別町のために！

【副議長】



⑭ 稲村 勝俊 (73) 6期
町政をもっと身近に！
幸せ実感できる町へ。



① 角田 広佑 (44) 1期
安心安全魅力ある町を皆さまと共に育みます



③ 芳形 幸夫 (68) 1期
当別って何かいいねと思われる町に！！



⑤ 佐々木 常子 (65) 2期
安心・安全の当別町を目指し働いて参ります



⑦ 西村 良伸 (68) 3期
当別町の未来を創造するために挑戦します。



⑨ 山崎 公司 (76) 3期
多くの情報発信で知名度の高い当別を目指す



⑪ 山田 明 (70) 4期
町の潜在能力を活かし課題解決に取り組む。



⑭ 島田 裕司 (67) 8期
追認するだけではなく提案できる議会へ

【議長】



⑮ 高谷 茂 (71) 8期
闊達な意見が飛びかう開かれた議会に。

議会運営委員会

委員長 山田 明 副委員長 島田 裕司
委員 秋場 信一、山崎 公司、五十嵐 信子、
西村 良伸、佐藤 立

総務文教常任委員会

委員長 山崎 公司 副委員長 秋場 信一
委員 稲村 勝俊、山田 明、佐々木 常子、
櫻井 紀栄、芳形 幸夫

〈所管事項〉総務部、企画部、出納室、監査委員、
選挙管理委員会、教育委員会

産業厚生常任委員会

委員長 五十嵐 信子 副委員長 西村 良伸
委員 島田 裕司、古谷 陽一、佐藤 立、
海野 学、角田 広佑

〈所管事項〉住民環境部、福祉部、経済部、
建設水道部、農業委員会

議会広報特別委員会

委員長 佐藤 立 副委員長 佐々木 常子
委員 櫻井 紀栄、芳形 幸夫、海野 学、
角田 広佑

令和5年第1回臨時会

日程：5月11日

◎：全員賛成 ○：賛成多数 ×：反対多数

傍聴1名 議会中継視聴回数 135回 (5/22 現在)

結果
掲載ページ

【専決処分】

| | | |
|---|---|---|
| 令和4年度一般会計補正予算（第7号） 寄付金の確定等により減額補正した専決処分の承認を求めるもの | ◎ | — |
| 当別町職員の給与に関する条例の一部改正 組織改編に伴う、当別町職員の給与に関する条例の一部改正について専決処分の承認を求めるもの | ◎ | — |
| 当別町税条例の一部改正 地方税法等の一部を改正する法律が、令和5年3月31日に公布されたことに伴う、当別町税条例の一部改正について専決処分の承認を求めるもの | ◎ | — |
| 当別町都市計画税条例の一部改正 地方税法等の一部を改正する法律が、令和5年3月31日に公布されたことに伴う、当別町都市計画税条例の一部改正について専決処分の承認を求めるもの | ◎ | — |

【補正予算】

| | | |
|--|---|---|
| 令和5年度介護サービス事業特別会計補正予算（第1号） 3,483万円を増額し、総額を1億83万円とするもの | ◎ | — |
|--|---|---|

【人事案件】

| | | |
|--|---|------|
| 副町長の選任について 増輪 肇氏の退職に伴い、新たに岡部 一宏氏を選任するため、議会の同意を得ようとするもの | ◎ | — |
| 監査委員の選任について 稲村 勝俊氏の任期満了に伴い、新たに古谷 陽一氏を選任するため議会の同意を得ようとするもの | ◎ | p. 3 |

一部事務組合 派遣議員

- ・石狩北部地区消防事務組合議員
西村 良伸、佐藤 立
- ・石狩教育研修センター組合議員
海野 学
- ・石狩西部広域水道企業団議員
山崎 公司、櫻井 紀栄

トピックス

新議長と新副議長

議長・副議長は、原則「投票」の方法により選出されますが、この度の臨時会では、議員全員の合意により「指名推薦」の方法がとられ、議長に高谷 茂氏、副議長に稲村 勝俊氏が選出されました。



高谷 茂 議長



稲村 勝俊 副議長

トピックス

新議員選出監査委員

議員から選任していた稲村勝俊氏が4月末で任期満了を迎えたことから、新たに古谷 陽一氏が監査委員として選任されました。



古谷 陽一 監査委員



代表質問

会派清新 山田 明 議員

質問の
ねらい

「人生 100 年時代」を見据えて！

コロナ禍に加え、ウクライナ情勢の緊迫化により、社会的、経済的、心理的に将来が不安な状況が続いている。「人生 100 年時代」を見据え、当別町のトップリーダーとして、町が抱える少子高齢化や人口減少をい

かにして克服し、次代へ引き継ぐ考えか。また、女性初の教育長として、当別町の未来ある子どもの「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をどのように育てる考えか。町長と教育長それぞれに伺った。

ここが
聞きたい

駅周辺開発と新庁舎建設

問

駅周辺開発と新庁舎建設は、財政的に厳しい状況もあるが、補助制度の活用や民間事業者との連携など、工夫して事業を組み立て、できる限り早期に進めるべきでは。

答

早急な事業展開が必要と考えているが、建設資材高騰により、事業規模は慎重な判断が求められる状況。検討委員会の議論を基本構想に反映し、早期建設できるよう方策を模索していく。

ここが
聞きたい

商工業活性化プロジェクト

問

小規模企業対策の推進を図るには、小規模企業振興条例の制定が急務。デジタル技術を町内経済活性化へつなげるためにも、小規模企業者の体制構築と強化が必要。早期に条例を制定しては。

答

条例制定よりも商工会等が自らビジョンを掲げるほうが、より具体的で実現性も増すことにつながると考えられる。条例の必要性も含めて商工会や金融機関と議論を深めながら検討していく。

ここが
聞きたい

在宅医療確保と地域福祉

問

駅前に総合医療機関が建設中と聞かすが、小児科医等の派遣や休日・夜間の救急医療などは検討しているか。

答

小児科医の派遣は検討中と聞いている。休日・夜間の救急医療体制は、一医療機関だけでは負担が大きく難しいため、町内医療機関全体で、地域医療の在り方として検討する必要がある。

ここが
聞きたい

授業改革の取り組みは

問

小学校高学年において、中学校教諭の乗り入れ授業や教科担任制などを導入し成果が出ていると考えている。令和5年度は教育の重点を授業改革に置くとのことだが、どのように取り組むのか。

答

体育、音楽、英語で乗り入れ授業、理科、国語、算数で教科担任制を導入しており、専門性を活かした授業が行われている。令和5年度は、他の教科も成果や課題を共有した上で導入していく。

ここが
聞きたい

ICT 教育への取り組み

問

ICT^{※1}教育は継続することが重要で、今後の教育に不可欠。教員のスキル向上も重要。どのように対策していくか。

答

教員のスキルアップは喫緊の課題。令和4年

度も教職員向け研修を進めてきた。令和5年度は、さらに実践的に活用するため、民間企業のプログラミング教室のノウハウを取り入れたり、ICT支援員の配置など、一層の取り組みを進める。



PCを活用した授業風景（西当別小学校提供）

※1 ICT…Information and Communication Technology の略。メールや SNS など通信技術を活用した産業やサービス等の総称。

代表質問 会派爽新 古谷 陽一 議員

質問の
ねらい

農業の将来に向けての対策を！

農業が安心して引き継がれるよう今後の農業の方向性について質した。次に、森林は我々の生活の中で大きな役割を担っているため、豊かな森林の維持が重要と考え、森林資源保全について質した。また、駅周

辺の再開発は新庁舎建設も含めて大変重要。どのような計画か質した。最後に、少子化により子ども会等の存続が危惧されていることから、子どもの健全な育成のため、新たな社会教育の場の検討について質した。



田植えの様子

ここが
聞きたい

農業の持続的発展を！

問

水田活用の直接支払交付金の見直しにより、やむなく畑地化した農地は、今後の指針をしっかりと示さなければ、耕作放棄地になりかねない。町の農業が進むべき方向性について町長の考えは。

答

もうかる農業の継承が重要。社会環境の変化にも柔軟に対応できる農業構造を築く必要がある。農業10年ビジョンも農業者が当事者意識を持って主体的に取り組めるよう見直していく。

ここが
聞きたい

豊かな森林形成に向けて

問

森林は、水源涵養や土砂災害防止など、私達の生活に大きな役割を果たしている。今後も豊かな森林を形成していくために、森林組合と連携し、町内外の森林所有者と個別協議を行うべきでは。

答

私有林については、個別協議を行い整備エリア拡大へ努めているが、所有者不明など整理が難しいため、森林組合とより一層連携して整備を進め、ゼロカーボンシティ実現につなげていく。

ここが
聞きたい

新たな社会教育の場を

問

少子化に伴い、地域の子ども会の存続が危惧されている。今後もより深刻な状況が想定されるため、新たな見地で、地域の実情を踏まえた社会教育の場の検討が必要ではないか。

答

コロナ禍で多くの社会教育の機会が失われたが、ようやく日常を取り戻しつつあり、新年度は通学合宿など活動再開に期待している。町教委も地域の方が参画できる仕組みづくりに取り組む。

ここが
聞きたい

駅周辺再開発プロジェクト

問

当別駅周辺の利便性向上や賑わい創出に町民は期待している。賑わい創出には、インフラ整備や商業施設再生への一体的な取り組みが空き地利用にもつながる。どのような計画で進めるのか。

答

都市計画マスタープランや立地適正化計画の下、適切な都市機能誘導を図る。また、民間ビルや医療機関の建設計画などの動きを通じて、新たな民間施設誘致や空き地等の利用へつなげたい。



当別駅前通



代表質問 会派緑風会 島田 裕司 議員

質問の
ねらい

コンビニ事業による影響は

道の駅へ24時間営業のコンビニが開業し利便性は向上したが、道の駅へ出店している他店の売りに影響はないか、町として独自に調査・分析する必要性について質した。次に、当別駅周辺の再開発に向けた都

市構造再編集中支援事業における図書館設置の考え方について伺った。さらに、太美駅周辺の整備計画は策定されていないことから、地域活性化のためにも早期検討すべきではないか町の考えを伺った。

ここが
聞きたい

テナント料が下がるように

問 道の駅へ出店したコンビニにより、道の駅全体の売上げが伸び、テナント料や農産物直売所の手数料が引き下げられるように、町はさらなる努力をすべきではないか。

答 道の駅の使用料は、道の駅の維持管理に必要となる最低限の経費を負担いただくよう近隣の道の駅の実態も踏まえて設定しており、現在見直しは考えていない。

ここが
聞きたい

冬の「陸の孤島」の教訓は

問 1月の暴風雪では、国道等が通行止め、JRも運行中止となり、町は陸の孤島となった。この暴風雪から得た教訓は。

答 情報共有の遅れ、運転者へ緊急メッセージが

届きにくい、通行止めになった国道からの迂回先に、より状況の悪い町道が選ばれた等の課題が見えた。情報共有や関係機関との連携強化に取り組むほか、Lアラート※¹から直接カーナビへ配信できるよう国へ要望する。

ここが
聞きたい

太美駅南側の町道整備を

問 令和4年に太美駅南側にスロープや待合所などが整備されたが、そこへつながる町道は幅が狭く車も交差できない。駅中心にまちづくりを進めるためにも、早急な現地調査と対策が必要では。

答 その町道はJRからの借用地でもあり、幅や停車帯整備には、周辺を全体的に整備する必要がある。限りある予算で整備するには、民間との協働が不可欠であるため、方法を模索していく。



太美駅南側の町道

ここが
聞きたい

実効性ある農業ビジョン

問 水田活用の直接支払交付金減額だけを想定した農業ビジョン見直しに意味はあるのか。今後も高齢化に伴い離農は進む。実態に沿って見直すか、実効性のある新たな農業ビジョンを検討しては。

答 コロナ禍、交付金見直し、燃料費高騰など社会情勢の大きな変化を受け、町の営農体系も変わっていかねばならない時期を迎えている。より実効性の高いビジョンへ見直しを進める。



当別町農業10年ビジョン



詳細はこちらからご覧いただけます。(当別町のホームページへ)

※1 Lアラート…全国の自治体から収集した災害情報等を報道機関に一斉配信し、迅速かつ効率的に住民に伝達するシステム。

代表質問 会派公明 佐々木 常子 議員

質問の
ねらい

安心・安全の当別町に！！

昨年、一昨年と比べて冬の道路状況は非常に良かった。1月の暴風雪の折には、町からの情報をつかめず、数十台の車が立ち往生した。町内外どこにいても町の状況をつかめるシステム構築が重要である。また、と

うべつ学園の「未来を拓く9年間」という素敵なキャッチフレーズの下で、拡充されるスクールソーシャルワーカーにより、不登校やいじめ、ヤングケアラーなどへ細やかな配慮や対応がなされることを願う。



昨シーズンの積雪状況

ここが
聞きたい

安心な除排雪体制を

問

排雪は1シーズンに2回とのことだが、排雪量が少ない時は、3回目の実施や、歩道用除雪機により道路幅を確保するなど、そのような体制を取ることが町民の安心につながるのでは。

答

冬の道路は、排雪の回数や量により道路管理をしているわけではない。道路状況は刻々と変わるため、適宜必要な作業を行い、適切に管理している。町民が安心して利用できるよう努めていく。

ここが
聞きたい

確実な情報発信を

問

1月の暴風雪では、国道や道道が通行止めとなり、数十台の立ち往生が発生。町はSNSでも情報を発信していたが、その情報をキャッチできるように周知を強く進める必要があるのでは。

答

SNS やアプリの中でもヤフー防災速報は、気象や防犯の情報、町の緊急情報が早く得られるため、広報等でも利用を呼びかけている。今後もこれらの媒体を活用し、正確な情報発信に努める。

ここが
聞きたい

質の高い保育とは

問

認定こども園の園舎建て替えや保育士加配を支援し、子どもの受け入れ態勢を整え、質の高い保育の提供に取り組むとのことだが、質の高い保育とはどのようなものを想定しているのか。

答

質の高い保育には丁寧な保育体制や機能的で安全な園舎が必要であり、加配保育士増員や園舎建て替えを予定している。また、町の特色を生かした田植えなど、感性を育む教育もそうと言える。

ここが
聞きたい

当別町に必要な対策とは

問

4月のこども家庭庁発足を受け、町の特性を踏まえて、効果が見込まれる分野や必要な対策に狙いを定めて少子化対策の検討を進めるとのことだが、現在どのようなことを想定しているのか。

答

妊娠期から成人までの包括的な子育て支援を考えている。既に取り組んでいる施策もあるが、秋以降に策定される「こども大綱」を見極め、町に適した子育て支援体制の在り方を検討していく。

ここが
聞きたい

ヤングケアラーへの対応

問

不登校やいじめの問題に対して、スクールソーシャルワーカー^{※1}を充実させるとのことだが、家族をケアするヤングケアラー^{※2}にはどのように対応していくのか。

答

令和5年度はスクールソーシャルワーカーが学校を巡回し、子どもの変化をいち早く察知して、関係機関と連携し、子どもや家庭が抱える問題を早期解決できるよう体制を強化していく。

次のページは

令和5年度予算・令和4年度補正予算等

多岐にわたる質疑がありました。